

<令和5年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業・PRポスター>

やまがた緑環境税を活用した

自然環境保全・里山林保全活動を実施

ヒメサユリを育てる会とざわ

県民みんなで支える森づくり



やまがた緑環境税

誰もが車で行けて、草花の鑑賞ができる里山「源治盾」周辺に稀少植物ヒメサユリの群生するエリアの拡大を図る

5月⇒桜ヒルズの桜の鑑賞
5月下旬から6月初旬⇒ピンクの可憐なヒメサユリの開花
7月～8月⇒山ユリの花が咲き乱れる癒しの場の創出
一連の流れの中⇒地域活性化につなげていく構想

村の花に指定されているヒメサユリは6月初旬に開花する稀少植物。令和4年及び令和5年の6月定例村議会開会時にラッピングしたヒメサユリのポットを村議会に提供。議会終了後、地域への情報発信ということで緑環境税普及啓発木製プレートを活用し、役場ロビー及び村内公共施設に展示PR。



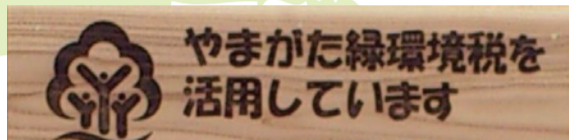
5月の桜



6月初旬 源治盾の地植えのヒメサユリ



7月～8月源治盾に咲き誇る山ユリ



ヒメサユリの特徴と村における増殖方針

村の花であるヒメサユリは、種から開花するまでに6年程かかり、ウイルスに弱い非常にデリケートな稀少植物です。本村の今神山や浄の滝周辺（自然環境保全地区）に野生種が群生していますが、群生場所は、険しい山道沿いにあり、通常では行くことが非常に難しく、村民に広く知られていない状況にあります。戸沢学園の校章のデザインにもヒメサユリが採用されており、小・中学生も含め、村民にヒメサユリを身近に目にしてもらうため、誰もが車で行けて鑑賞できるぼんぼ館近辺の「源治盾」周辺にヒメサユリの球根の植栽活動を行い増殖を図っていくという目的のため、ヒメサユリを育てる会を令和3年4月に立ち上げ、試行錯誤しながらの地道な活動を展開中。継続した取り組みで、少しずつヒメサユリを里山の中で植栽地（増殖場所）を年々広げていきたいと考えています。その保全活動の中で学校等と連携した森づくり体験活動や自然環境学習会の開催。会員相互の情報共有のためのチラシ発行も実践していきます。

令和5年度 実施活動内容

- ★里山整備活動を通じた稀少植物「ヒメサユリ」（村の花）の増殖及び植栽箇所の自然環境保全活動の実施。
- その中で、子どもたちも巻き込み、中央公民館での自然環境保護学習及び豊かな森づくり活動も実践していく。
- ・総会開催 4/15
- ・6月定例村議会議場にヒメサユリの鉢の提供 6/9
- ・年2～3回の土いじり 5/27、6/3、10/29、11/3
- ・先進地視察・種取り 10/22
- ・種の土伏せ、球根の植え替え作業、地植え、越冬準備活動等 11/11
- ・自然環境保護学習会 12/23

事業費は310千円（内補助対象経費は285千円）



ヒメサユリの種



ヒメサユリの球根

6/3 植栽箇所の除草作業



10/29 秋の里山林除草作業



11/11 戸沢学園の生徒をまじえた球根の植え付け・種の土伏せ作業



種の袋詰め作業



土伏せした種子の掘り起こし作業

活動を行った感想

仲間たちとの繋がり、協力してくださった地域住民の方々との連帯意識を強めることができ、地域の活性化につながる活動ができた。この活動が里山の大切さ・価値を見つめ直す良い機会となった。今後も自然・ふるさと戸沢村を大切に育てていきたい。

《戸沢学園8年生Mさん》



連携協力団体：戸沢村教育委員会、戸沢学園教職員、戸沢学園ボランティアの児童生徒